

ジュニアリーダーの育成と活動

ポリシーをもって参加

平成二十六年年度修了生 望月 誠人



中学、高校と青春の六年間ジュニアリーダーを続けてきました。会長を二年間務めさせていただいたり、研修キャンプで実行委員長をやらせていただいたりしました。

たくさんのご経験をきた中で私は常に一つのポリシーがありました。それは「何のために研修へ参加しているのか」ということです。

リーダー一級になってから毎月一回開いてくださる研修会に目的をもって参加しないとすごくもったいないと感じました。ですから私は何事も明確な目的をもって研修に参加していききました。例えば「憧れのリーダーをよく見よう」とか「今日は10人の人と最低でも話そう」など何でも良いので目的をもった方がもっと楽しく研修が受けられるからです。

正直楽しいことばかりの六年間ではありませんでした。ですが私は六年間続けてこれたことに誇りを感じています。

四月からは社会へ出て働きます。六年間学んだことはきつとどこかで役に立つと思います。皆も六年間続けて、いつまでもこのJL研修会が続いていくことを願っています。

子どもが大好きに

平成二十六年年度修了生 有澤 直人



六年間を振り返って1番得たものは、子供との接し方です。

自分は子供と接することが苦手でした。でもジュニアリーダーの月例研修を通してどう接したら子供がなついてくれるのか、どう計画したら子供が楽しんでくれるのか、ということを学ばせていただきました。そして、墨少連が計画した大会の手伝いや各小学校での派遣、少年キャンプなどで子供と接する時に、月例研修で学んだことをいかせる場を作って下さり、そこで自分の力をスキルアップすることができました。

派遣やキャンプで子供と接することで子供が大好きになり、将来子供と関わる仕事に就きたいと思うようになり、このジュニアリーダー六年間を通して自分の将来の夢を見つけることができました。

ジュニアリーダー六年間の活動でたくさん経験させていただき、学ぶことができました。この六年間は自分の人生の中でとてもいいものになりました。

私の居場所

平成二十六年年度修了生 石田 珠恵



私がこの六年間で得たものは、「居場所」です。

私は中学校時代、学校の友達とうまくいかず一人孤立していました。そんな私を支えてくれたのはJLという存在です。いつ、どんな時でも温かく笑顔で迎えてくれる場所。私は学校よりもJLに行くほうが楽しくて、育成の方に「学校が優先だからね」と怒られたことを、つい昨日のように思い出します。

高校に入学し、JLの中で「迎えられる側」から「迎える側」に立場が変わりました。私なんかにはできるのだろうか。と、不安で潰されそうになった時、支えてくれたのはJLの先輩や同級生でした。自分では気付けなかった長所を教えてください。自分ではその長所を生かせるのかアドバイスをもらいました。お互いに気づきあい、協力して団体を運営していく。こういった経験はJLだからできたのだと思います。

私は、六年間JLという優しく温かい居場所でした。皆さんのことを経験し学ばせていただくことができました。それもすべて墨少連の方や青少年委員の方、生涯学習課の方、そのほかたくさん

方々のご協力があったからだと思います。本当にありがとうございます。私は今年度で卒業をしますが、必ず何らかの形でJLに戻ってきたいと強く思っています。

六年間を通じてJLで学んだこと、大切な居場所があるということ。そのことを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思えます。

6年間で得たもの

平成二十六年度修了生 上野 優



(この6年間で得たもの「人」という財産だと思えます。)

自分は内気な性格で人見知りが強くと関わるのが正直苦手でした。今もそうです。そんな気持ちをまぎらわせるために、自分から明るいキャラで誰とでも話しかけに行っていました。でも時々考えます。「こんな自分を好きでいてくれるのか?」「どっちの自分を好きでいてくれるのだろうか?」色んな所で色んな顔をしているのが疲れ、そんな自分が嫌いでした。

得意ことが有る訳でもなく、センスも趣味もなく、何ができるのか?と思えば何もできません。色々な事を挑戦してみました何が何をやるの

も中途半端ですぐに止め、逃げ出したことは何度もありました。

ある日、一つ頼み事を任せられ、その作業をやり終えた時に「達成感」を強く感じたことがありました。責任の上にあったのは「喜び」でした。それは一人で見ることはできません。だって何かをするのには必ず「人」と「人」が関わるからです。「人は人のために尽くす、尽くした分は自分に返ってくる」、人は鏡なんだと・・・。

この活動を通して「人のためになる」という事に気がきました。「人を喜ばせるためには?」「人を悲しませないためには?」何度も怒られ、悩んだ事もあります。そのたびに自分を追い込みました。しかし、そんなことに周りの人は手を差しのべてくれるのです。

「大丈夫、一人じゃないから」と。優しい一言ですが辛い一言です。何故なら、自分の無力さを感じるからです。でも、困った時に協力してくれる仲間。辛い時に支え合ってくれる味方。時には厳しく叱ってくれる恩人。

そんな沢山の「人」にかこまれていたのだと思えます。全部が感謝でいっぱい大切な仲間だからです。

関わってきた沢山の仲間と恥じないように、少しずつお礼が返せるように、これからはしっかりと一歩ずつ少しずつ歩んでいきたいと思えます。

六年間を振り返って

平成二十六年度修了生 大場 純暉



私は六年間を振り返り、得たものは本当に多いと感じました。

私がジュニア・リーダーに入ったきっかけは、姉が入っていたことが一番の理由でした。しかし、続けていくに従い目標もできてきました。最初の目標は、積極的になることでした。

私は昔から消極的で意見も言えず、あまり楽しめませんでした。けれどそれでは、時間や先輩方の力や少しの勇気で少しずつ達成できました。そして次の目標は、尊敬する人物像を持ち、その人間になる努力をするということです。

私は今まで、先輩や育成の方々、地域の人々と出会い、尊敬できる人を多く見てきました。そして、このような人達になりたいと思えました。これはおそらく、一生の目標だと思います。しかし、一番大切なことだと思います。

この六年間で、得たものは私生活でも役立つ勇氣と、尊敬できる人達に出会えたことです。最後に同学年の仲間と一緒に活動できたことに感謝です!!

六年間のジュニアリーダー

平成二十六年卒業生 根里 拓磨



自分はジュニアリーダーの六年間を振り返ってみていろいろ感じたことがあります。まず、六年間続けてきて本当に良かったということ。高校生になり部活が忙しくなり、あまり研修に出ることはできませんでしたがその中でもたくさんの人とふれあうことができ楽しく研修できたことです。あまり、リーダー級らしいところは見せられませんでしたが自分のできることは少しはできたのではないかと思います。

次に仲間と協力することは大切だということです。いろいろな派遣などに参加してきて1人ではできないことをみんなでやって達成できた時、感じたのはこれでした。ジュニアリーダーはこういうのを大切にする集団なんだと常々感じてました。これからの人生においてもこれはとても大切で必要不可欠なものに違いないと確信しています。また六年間たくさんの方々にお世話になってきました。いろいろと迷惑をかけてしまったと思います。ここで培った経験や出会った仲間のことは忘れません。

この六年間は人生の中でかけがえない思い出になりました。この経験を糧にこれからの人生を

精進していきたいと思えます。本当にジュニアリーダーに関わる全ての人々に感謝します。本当にありがとうございました。

五年間で得たもの

平成二十六年卒業生 泉水 文絵



私がこの五年間で得たものは、大きく2つあります。それは「互いに刺激し、高め合うことのできる仲間」と「たくさんの方々の笑顔」です。

私たちは、企画を立てる中で意見を出し合い、反省会では互いを指摘し合ってきました。このようないことは、学校生活ではなかなか経験することはありません。だからこそ、このような貴重な仲間ができたことをとてもうれしく思います。

また、企画を通してみることでできたジュニアの仲間の笑顔や、子ども達の笑顔は格別なものでした。自分たちでイチから考え、組み立てた企画から笑顔が生まれることは、本当に嬉しかったです。そして子どもたちが楽しそうに、嬉しそうに笑っている顔がさらに好きになりました。

私はこの三月をもって卒業しますが、ジュニアの仲間にはそれぞれの大切なものを見つけ、次の子たちに繋いでいってほしいと思います。

やりきれた理由

平成二十六年卒業生 江原 弘



私は一時期ジュニア・リーダーに参加していませんでした。部活動や家の用事などが重なり、時間が作れなかったからです。

ある時、友人に「月例の活動に参加しろ」と言われて渋々行きました。そこで見たのは成長していた同世代の人たちでした。ジュニア・リーダーを盛り上げ、まとめて、引っぱっていました。それがとても眩しく思いました。しかしその成長の裏には、とても苦労していたのだと感じました。

私はみんなが感じた喜びも辛さも共有できないから戻れないと考えてしまいました。しかし、友人が「俺が掛け合ってくる」と言って周りの人たちを説得してくれました。

今、私がここにいるのはその友人をはじめ、私を支え、後押しをしてくださった人たちがいたからです。

御迷惑をおかけしました。そして、ありがとうございました。

ジュニア・リーダーの活動 H26/4/1~27/3/31

I 区及び墨少連事業への協力

1	少年キャンプ（子ども会活性化事業）	8月9日～10日
2	すみだ青年協力会主催行事	9月21日
3	すみだまつり・こどもまつり	10月4日・5日
4	墨少連50周年記念事業「あそびの博覧会」	10月26日
5	東京都地区子ども会育成者研究協議会	11月24日
6	子ども会活性化事業（スポーツ大会）	2月22日
7	子ども会活性化事業「チャレンジしよう！ロープジャンプXV」	全7回

II 単位子ども会等への派遣

1	錦糸小学校子ども会	歓送迎会	4月13日
2	太平二丁目若草子ども会	新入生歓迎会	5月17日
3	八広地域プラザ運営協議会	お泊り防災体験	5月31日
4	緑小学校PTA	飯盒炊飯とレク	6月28日
5	業二南子供会	レクリエーション	7月12日
6	錦糸小学校PTA	錦糸フェスティバル	9月20日
7	業平小学校連合子ども会	なりっこまつり	10月18日
8	梅若小PTA	梅若フェスタ	11月2日
9	二葉小学校PTA	二葉小バザー	11月22日
10	横川5丁目東部町会若葉会	クリスマス会	12月13日
11	東駒形3丁目わらべ会	クリスマス会	12月20日
12	八広小学校PTA	迷路&チャレンジゲーム種目	1月24日
13	東駒形3丁目わらべ会	豆まき	2月1日
14	横川5丁目東部町会若葉会	お楽しみ会	2月14日
15	梅若小学校PTA子供会	子ども会イベント	2月14日
16	八広2丁目南子供会	お楽しみ会&迷路ほか	3月14日

III 指導実習

1	6月21日	梅若小学校
2	6月29日	二葉小学校
3	9月6日	隅田小学校
4	9月27日	曳舟小学校
5	11月29日	柳島小学校
6	2月28日	サブ・リーダー講習会（冬期）

*各会場で子どもたちに対してゲーム大会を実施。

ジュニア・リーダーの
育成にたずさわって

ジュニア・リーダーの活動の一つに派遣があります。

ここ数年ジュニア・リーダー（以下JLと略）の派遣を依頼する子ども会や学校が多くなっています。内容の多くは、歓送迎会やクリスマス会、PTAのフェスティバルなど・・・。

JLは、一年間の研修を通じて、ゲームの指導法、キャンプの知識、安全についての講義などを学びます。

派遣は、研修したことを実践する学習の場でもあるのです。

その派遣先から「子ども達が楽しかった。喜んでいました。」と言う声を聞くとうれしくなります。JLの活動を派遣や指導実習を通して、多くの方に知ってもらえるよう努力したいです。

また、学校・部活・バイト等、選抜の多い中でJLの研修会に入り、中学一年から高校三年生までの六年間を続けていくのは、大変なことだと思えます。でも、せっかくなので最後の最後は、修了生として卒業できることを望みます。

墨田区少年団体連合会 金居 真澄

墨田区ジュニアリーダーズクラブ修了生名簿

藤巻 栄知	細田 桂子	増村 圭子	鈴木 啓一	昭和61年度	古沢 芳彦	今井 栄次	昭和60年度	大越 秀一	昭和59年度	小笠原貴子	光野 早苗	片岡 直仁	柳瀬 一正	今井 正人	櫻村 勝巳	山野辺紀子	関 泰正	昭和58年度	梶井 康江	吉田 勝	昭和57年度	桜沢 礼子	牧野 久代	吉葉 雅之	昭和56年度	小高 正巳	昭和53年度			
増村 巨夫	平成2年度	本間 純子	佐藤 新吾	山田 美輝	増川 順子	亀山 彰	谷澤 純一	堀 かおる	平成元年度	諸橋 祐子	広本 貴之	竹門 隆司	森 裕樹	佐藤 雅子	小林 哲治	脇島 桃子	昭和63年度	竹門 祥一	黒須 由佳	蟹和 恵子	南 香世子	伊東 妙子	神澤 恵織	池上 巖	岡部 勝子	昭和62年度	岡崎 一恵			
木村 智史	木村 智史	清水 雅代	宇津 昭男	川島 優子	斉藤かおり	浅野 愛子	平成5年度	郡 聡子	菅沢 美穂	沼田 典子	加藤 崇幸	伊東美智子	堀 ひとみ	小野塚智武	秋山 晴彦	小林 俊之	福岡 晃一	工藤 彰人	原田 紀幸	平成4年度	西城 智宏	永山 幹雄	野村 大樹	嘉門 真宏	中村 淳一	石井 幸恵	平成3年度	伊藤 俊弘	小端 英樹	木村 友二
今和泉賀世子	金子 正幸	佐々木孝子	平成10年度	秋山 健介	八木 夏江	北山 真平	平野 直人	広田 滋	平成9年度	今和泉卓也	吉羽 美恵	久保田 徹	森 愛美	田中 房江	阿曾健太郎	平林 秀敏	阿曾健太郎	平成8年度	中村 裕子	小林 美和	瀬川 知美	山本恵理子	平野 陽介	平成7年度	浅野 美香	板津 勉	荒井 優伸	秋山 昌宏	郡 崇征	平成6年度
小林 航	今井 哲平	斎藤真由美	金山玲雄奈	金子 豊	平成14年度	小林 香織	今 幸子	山谷 裕子	梁瀬 真裕	町田 麻美	高柳 実統	石川 裕亮	秋山 司	平成13年度	吉羽 彩	金子 幸弘	井垣 聡	多田 香織	倉田 あや	平成12年度	瀬川 夏美	平野 新	平林 邦哲	梁瀬 由記	小川 剛	平成11年度	石井 幹子	井垣由美子	吉羽小百合	
本多 久遠	有澤 研人	門脇 将	石田 康貴	平成21年度	根里 昭博	清水 宏	大平あかね	小山 映子	平成20年度	神田有貴乃	平成19年度	石川 拓磨	江川留美子	増山 祐哉	高橋ひなた	平成18年度	片桐 恭輔	大貫 美空	平野 涼	平成17年度	清水 孟紀	清水 幸子	梁瀬 文代	森 一樹	平成16年度	石川 憂佳里	梁瀬 文代	平成15年度		
						上野 優	石田 珠恵	有澤 直人	望月 誠人	大場 純暉	平成26年度	石井 利典	寺尾 侑子	大場 安純	羽鳥 緑里	長津 隆太	大島 広記	野本 紬	平成23年度	並木 沙織	中川 佳菜	板垣 晴香	石井真由美	平成22年度	中村 光希	中田 恭介	鷺尾 大樹			

